

佐渡国際学院（佐渡）

で、予定予算と実際の費用がずれた場合、超過額をはじき出し予算オーバー

改善が目指せる」と強調する。

佐渡市に本社を構え、ソフトウェア開発販売などを手掛ける佐渡国際学院（山田勝仁社長）。正社員は三人。もともとは学習塾だった同社が開発

のみならず、首都圏の大規模な建設会社にも留る。入力データはオンラインで社内とつながり、社全体で情報を共有化でき

る。コスト管理の徹底と工事開発は一九九七年。一

販売実績は県内約五十社のほか九州、首都圏など計約六十社。昨年五月、新潟産業創造ファンドから三千万円の投資を受けた。マイスターを全国的に売り出すための営業強化が狙いで、新潟市に事務所を設置。首都圏への営業を展開し大手建設業者からの問い合わせも増えた。海外に進出する業者から英語版の開発も依頼されているという。

営業強化し販路拡大

した土木、設備業者向けの施工原価管理ソフト「マイスター」は島内・県内

の進ちよく状況の把握が容易にできる点だ。

一般的な原価管理ソフトは経理部で使用するケースが多かったが、現場レ

ベルで簡単に利益管理ができるソフトを求めている。山田社長は「まずは県内で販売実績を伸ばし、県外での販売に一層力を入れた」と意気込んでいる。

.....

佐渡国際学院が開発した施工原価管理ソフト「マイスター」。

簡単な操作でコスト管理を徹底でき

る。新たな資材の発注などで利益確保や施工効率の

.....

人件費や材料費など毎日のデータを入力することで、工期全体の経費見通しが集計できる。工期途中の資材価格の変動や

新

.....

